

令和3年（2020年度）事業者

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		エレベーターの設置はないが、通所児童の特性に合った設備になっている。支援室は3階にあるが、対象児童に合った設備となっている。支援室内はバリアフリー化がなされている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2		コスト面で可能な方法を探る→横浜市の実地指導の結果に沿って改善を行っております。ただしそれ以外の委託機関による評価はコストの面で可能な方法を探っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			今年度はコロナウィルス感染拡大により、内外の研修の機会が持てなかった。来年度はリモートでの外部の研修に参加したい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			業務の都合上、翌日の支援開始前に実施することがあるが、支援内容、役割分担の共有はなされている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7			
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			7	相談支援事業所を利用できている利用者がない。相談支援事業所利用の対象者がいない。 ➡すべての方が利用できるように制度の改善を望みます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			ご家庭や学校のニーズに応じて、関係機関連携会議を行い、情報共有や支援に役立っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7			必要な連絡体制を整えているが、医療的ケア児の実際の受け入れはない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			これまでに実施したケースはないが、ニーズがあれば情報共有を行う準備がある。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			これまでに実施したケースはないが、ニーズがあれば情報共有を行う準備がある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			併設のクリニックから助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	一般級の児童が中心の為、学校で交流が行えている。地域の施設を利用することはあるが、他児との交流を目的としては使用していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			職員の人数や業務の都合上、参加が難しいことはある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			面談等を通して、保護者に個別的に必要な助言と支援を行っている。集団によるペアレントトレーニングはささえる〜むなどの外部支援を紹介している。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			重要事項説明会と報酬改定の度に資料配布と説明会を実施している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	ニーズや希望の聞き取りを始めている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	個人情報に十分注意しているか	7			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			個人情報の問題から地域の学校や専門機関との交流に限っている。

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			防犯マニュアルは作成を検討中です。その他のマニュアルは策定し、周知しています。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			対象となる児・事例はないが クールダウン等の取り方について記載して説明している
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			

